

かみさと



学校教育目標
豊かな心もち
他のために行動できる子
やさしく かしく
たくましく

㊦んがえて行動 ㊦んなにあいさつ
㊦そい合って働く ㊦もだちを大切に

さいたま市立上里小学校 学校だより

発行者 校長 梶山 崇

〒339-0006

さいたま市岩槻区上里2丁目2番地

令和3年6月1日(火) 6月号

TEL048-794-2316

いじめ撲滅強化月間によせて

校長 梶山 崇

1学期がはじまって2か月が経過しようとしています。子どもたちも新しい学年・学級に慣れ、元気に活動しています。また、先月のブロック学年ごとの小運動会ではご参観いただきありがとうございました。保護者のみなさまの温かい拍手は子どもたちにとってたいへん励みになります。また、子どもたちの活躍は私たち大人に希望を与えてくれるものです。応援のマナー等へもご協力いただきありがとうございました。

さて、今月はいじめ撲滅強化月間です。子どもたちも4月5月は新しい学級に慣れない部分もありますが、ちょうど慣れてくる頃が6月頃で、友達との人間関係でうまくいかないことが出てくる頃ともいわれています。そこで、6月を「いじめ撲滅強化月間」としています。

いじめをしてはいけないことは誰もが分かっていることです。しかし、新聞等ではいじめに関する事件・事案等は現実として見受けられます。もちろん本校の教員も日頃よりいじめのない学級経営を心掛けていますが、児童あるいは保護者の方からからいじめの訴えがあったときには誠意をもって対応しています。対応の中で、特にいじめ防止基本方針という被害者の立場の児童、加害者の立場の児童等からきちんと話を聴き、確認し、指導・支援に当たっています。ほとんどの場合、児童は心から分かってくれます。ただ現実としてそれぞれの立場で、どうしても話が合わない部分があることもあり、それを保護者の方にお伝えするときは申し訳ないとは思いつつ、正直にお伝えすることもあります。今後も誠意をもっていじめの指導・支援に当たります。

また、今月のお話朝会で、私は子どもたちにいじめをしてはいけないことはもちろんのこと、いじめがもとで命を落とすこともあること、何十年たっても忘れることのできないいやな記憶になることも話をします。昨年度もお話朝会で子どもたちに紹介しましたが、私は小学校6年生のときにいじめを受けていました。私の場合は学校から家に帰るのがいやになり、下校時間が過ぎてみずと1人で教室に残っていました。あまりにも帰宅が遅かったので、母が心配して学校まで迎えに来てくれました。帰宅して泣きながら母にいじめられたことを打ち明け、母が担任の先生に話をしてくれたので、次の日からいじめはなくなりました。正直言って大人になった今でもそのときのことを思い出し、夜中にはっと目覚めることがあります。また私は20歳のころ、いじめをした子の家の前に何度か行き、いやだった、つらかった気持ちを伝えようとしたのですが、それはできませんでした。

学校でも、①校長による講話、②朝のあいさつボランティアによるあいさつ運動、③学級担任による指導、④道徳教育、⑤いのちの支え合いの授業、⑥子どもいじめ対策委員会による「いじめなくそう集会」、⑦いじめアンケート等を行い、いじめのない学校づくりに取り組みます。お子さんの様子で、ご心配なことがありましたら、いつでもご相談ください。今月も本校の教育活動にご支援をお願いいたします。